

## 授業イメージをつくりましょう

	小学校
教科・領域等	算数
単 元 名	10より おおきい かず
対 象 学 年	1年
実 施 場 所	教室
I C T活用授業の内容	<p>授業のねらい</p> <p>数図ブロックに置き換えて数える操作を通して、「10といくつ」という見方に着目し、この見方をもとに20までの数の数え方を理解できるようにする。</p> <p>授業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プロジェクターで投影した情景図を見て、だるまがびょうの数の数え方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指で数える。</li> <li>・ペンで印を付けて数える。</li> <li>・数図ブロックを絵の上に置いていく。</li> </ul> </li> <li>○だるまがびょうがいくつあるかが一目で分かりやすい数図ブロックの並べ方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ばらばらに並べる。</li> <li>・横に13個並べる。</li> <li>・10個と3個に並べる。</li> </ul> </li> <li>○数図ブロックを「10といくつ」に並べると一目で分かりやすいことから、「10といくつ」に着目した読み方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>☆10のまとまりと3で、「じゅうさん」と読むことを知る。</li> </ul> </li> <li>○他の文房具についても、数図ブロックに置き換え、「10といくつ」に並べ替えて数える。</li> </ul> <p>I C T活用のねらいと授業での位置付け</p> <p>児童の教科書と同じ情景図をホワイトボードに投影し、その上でペンを使って書いたり、マグネット（数図ブロック）を置いたりすることによって児童の活動と同じことができるので、意欲的な発表ができ、児童の理解をより図ることができる。</p>
活用する I C T	デジタルカメラ、プロジェクター